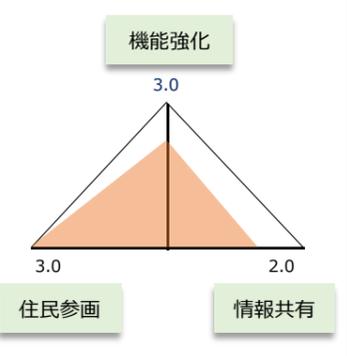
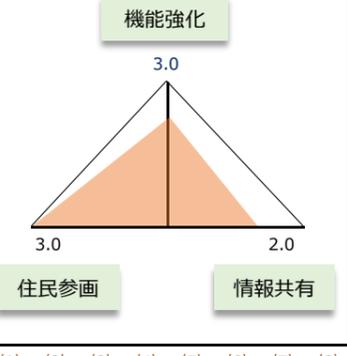
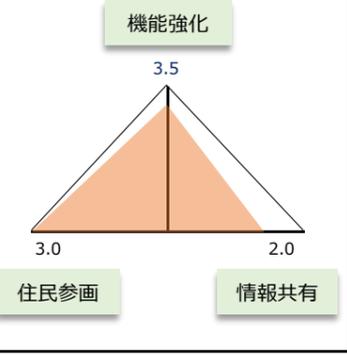
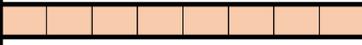
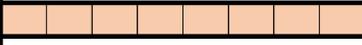


議員活動自己検証シート（公約の取組）		（対象期間：令和6年度）		会派名		真正会					
		議員名		鈴木 深由希		期数 (議員歴)					
		所属委員会等		産業建設常任委員会 委員長 予算決算常任委員会 広島県水道広域連合企業団議会		4期 (13年)					
公約を検証する背景（根拠）		議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は、市民の負託にこたえる責務を負っている」/21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」									
検証の対象/分野		議会基本条例第4条 議員活動の原則/議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について（早稲田大学マニフェスト研究所文献引用）									
検証方法		「公約」について、成果如何に拘わらず、その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）									
<b>議会基本条例第4条（議員活動の原則）</b> ① 選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し、市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し、市民全体の福祉の向上をめざすこと。【情報共有】【住民参画】 ② 議会が言論の場であること、及び合議制機関であることを認識し、議員相互間の自由な討議を重んじる。【機能強化】 ③ 日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努める。【機能強化】 ④ 地方自治の本旨にのっとり、政策、条例、意見書等の議案を提出する努力をすること。【機能強化】 ⑤ 市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため、一般質問を一問一答方式により行う。【機能強化】【情報共有】											
<b>（公約1）福祉・市民の幸せ希望あるまちづくり</b> ・障害のある人、お年寄りが明るく生き生きと暮らすまち！ ・どこへも行ける地域公共交通網の確立！				<b>検証</b> 1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由等 注）検証に繋がる活動等、成果等（事業の見直し等）を記入すること。							
		<b>住民参画</b> 3point <b>情報共有</b> 3point <b>機能強化</b> 4point		(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握） (2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援 (3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践 (4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動 (5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動 (6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信 (7) 一般質問等による政策や事業改善の提案 (8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底 (9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討 (10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加		<input type="radio"/> 障害者、老人クラブ等、個別、団体との意見交換は定例会以外でも、常時課題が発生したとき、こちらから疑問に感じたときなど、積極的に機会を設けた。 <input type="radio"/> 視覚障害者団体からの推奨で先進地の取組をHPで確認、意見交換を行った。ユニバーサルデザインの不備、合理的配慮（義務化）の推進について、行政に進言し、交通センターの点字ブロック設置整備など改良に繋がった。 <input type="radio"/> 地域公共交通について、近隣市町を訪問して、実践されている内容、運営者、利用者の声、課題、これからの新たな取組等を研究した。市民からの要望は、長年の調査研究を元に、機会がある度、積極的に発言し、提案し続けている。 <input type="radio"/> 個人的な報告会や報告チラシの配布はできていない。 <input type="radio"/> 一般質問は行政へ進言し、答弁されることが市民と共有できる場でもあり、積極的に登壇し、具体的な提案をしている。一般質問を視察された市民から率直な意見、感想が届くことは勉強になり、活力となっている。常任委員会等での自由討議が積極的に進められていることで、自身の考え、他者との違い、課題により深く取組んでいると考える。計画書、条例、制度と現状の検証は重要と考え、市民会議からの検証についても参考としている。スキルアップの為に研修、勉強会については、得意分野、関心の深い分野に固執せず、幅広く学ぶよう心がけている。WEB研修も利用している。					
(1) 1.0 (2) 1.0 (3) 1.0 (4) 1.0 (5) 1.0 (6) 0.0 (7) 1.0 (8) 0.5 (9) 0.5 (10) 1.0		<b>値合計</b> <b>8.0</b>									
<b>（公約2）地産推進、活力ある郷土を守る</b> ・農業の担い手育成・技術の継承推進！ ・産業の活性化！				<b>検証</b> 1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由等							
		<b>住民参画</b> 3point <b>情報共有</b> 3point <b>機能強化</b> 2point		(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握） (2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援 (3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践 (4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動 (5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動 (6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信 (7) 一般質問等による政策や事業改善の提案 (8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底 (9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討 (10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加		<input type="radio"/> 日常、農業従事者や商業関係者から話を聞く機会が多いと思う。ありのままの現状を聴く、農林水産省等で研修を受ける時、机上の空論と心の中が叫んでいて、現状を進行した。農業施策は、担い手の目をつんでいる。農業を守る為に、もっと発信しなくてはならないと考える。商工業について、地方で頑張っている企業、地方ならではの産業を守る、発展するよう知恵を絞っておられる事業主の話を聞く度、リーダーシップを取る人材は豊富と感じている。 <input type="radio"/> 鳥獣被害、温暖化による悪天候、農業従事者の苦勞は計り知れない。共に知恵を絞って、研究し、問題解決に取り組んでいる。様々な機関主催の研修会等へは積極的に参加、現場での実践研修は特に興味深い。目からうろこことが多い。地産地消は、市民の意識向上も不可欠と考える。農業、化学肥料を最小限にした農業の推進を啓発していくことも重要と考えている。安全な食材による健康な生活は、医療費等の削減に繋がっていく。 <input type="radio"/> 一般質問では研修等で学んだこと、行政が取り組んでいることの確認、市民に情報が伝わっていないことを払拭するために登壇している。情報が末端まで伝わる、行政の発信だけで不十分であれば、議員が伝えることも活動の一環と捉えている。地域により、面積、人材の有無に関わらず、地域振興に尽力され、頑張っておられる。市内の中で、地域で課題は異なり、特徴がある。地域性を活かした農業、特産品の推進、あきらめず頑張りたい。 <input type="radio"/> 地元の商店が姿を消して行くことへの寂しさは2、30年前から感じてきた。コンパクトシティは夢物語なのか早めに手を打てば違っていたかも。今からでも遅くないと研究していく。					
(1) 1.0 (2) 1.0 (3) 1.0 (4) 1.0 (5) 1.0 (6) 0.0 (7) 1.0 (8) 0.5 (9) 0.5 (10) 1.0		<b>値合計</b> <b>8.0</b>									
<b>（公約3）防災・減災、命を守る市民総動員の危機管理</b> ・『共助』みんなで助かるしくみづくり！ ・公平に正確な情報伝達を迅速に！				<b>検証</b> 1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由等							
		<b>住民参画</b> 3point <b>情報共有</b> 3point <b>機能強化</b> 2point		(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握） (2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援 (3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践 (4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動 (5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動 (6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信 (7) 一般質問等による政策や事業改善の提案 (8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底 (9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討 (10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加		<input type="radio"/> 防災士として『命』を自身で、隣近所で、守ることを常に提唱。自主防災組織の強化を訴え続けている。防災訓練等への参加はもちろん、運営のあり方にもしっかりと意見を述べて、これまでに発生した災害の振り返りを共有し、それを教訓に、足りなかったこと、どうすれば良いか、命を守るために必要な行動、意識の向上を住民相互に考えることを啓発している。 <input type="radio"/> 自主防災組織が自治連合会の活動の一部という捉え方がなかなか払拭できない。壁は厚い。 <input type="radio"/> 現場に赴くことは必須。TVドキュメンタリー、YouTube等で防災士会、全国の消防の取組を見て参考にしている。防災について、方法論の一つではない。臨機応変に対応できるスキルを持って、防災意識を住民が共有するよう今後も積極的に発言し、活動。住民の為に具体化できていない防災訓練、過去に取り組んでいるのに後退している現状を払拭したい。一番の課題は組織の構成員の意識変革と考える。綿密な計画書は作成されているが、認識の共有をもっと地道に働きかける必要がある。 <input type="radio"/> 議員活動は『傾聴』から始まる。政策提言、事業改善は常に市民目線が大切である。常に市民にわかりやすく伝える一般質問に心がけている。議員間の意見交換も積極的に進めたい。 <input type="radio"/> 計画書の見直しが行われているが、実効性を重視した組み立て、分かりやすい内容であればと考える。整合性に疑問を感じる点もある。 <input type="radio"/> 子ども、高齢者、障害者、弱者の視点で組み立てられ、防災組織、減災活動がどうあるべきか啓発していかなければならないと考える。 <input type="radio"/> 分かりやすく、日々の積み重ねが大切と考えて、正しく提案できるよスキルアップをはかっている。					
(1) 1.0 (2) 1.0 (3) 1.0 (4) 1.0 (5) 1.0 (6) 0.0 (7) 1.0 (8) 0.5 (9) 1.0 (10) 1.0		<b>値合計</b> <b>8.5</b>									
<b>公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の抽出</b>											
<b>福祉・市民の幸せ希望あるまちづくり</b> ・障害のある人、お年寄りが明るく生き生きと暮らすまち！ ・どこへも行ける地域公共交通網の確立！				<b>活動の一コマ</b> 発達障害を抱える子ども、若者の育ち・学びを支える会 つどい・さんあい設立10周年記念講演会 ～手話通訳・要約筆記派遣の様子～		<b>課題の抽出・次年度の目標設定</b> 障害者差別解消法施行から、全国で手話言語条例、コミュニケーション条例の制定が進んでいる。本市は条例制定議案が撤回されてその後、議論も行われず、委員会でも検討されていないことを残念に思う。移住、観光、人々の交流には合理的配慮はつきもので、市民が安心して差別無く暮らして初めて人が目を向ける。市民の満足度が低い街には人は集まらない。福祉は人類生存の基本であることを共有し、条例制定を目指す。					
		<b>8.0</b>				国の施策に対して、広島県選出の国会議員と共に、もっと幹幹産業である農業施策の改善を積極的に進言していく。一度荒らした農地は復活に時間と労力が必要である。食料自給率の低い日本、食糧危機が訪れるという危機感を持って農業施策は行わないと行けない。担い手の育成も強化し、農地を守らなくてはならない。農事法人の健全経営も課題と捉えている。地域間交流で情報交換し共に活性化を目指す。					
<b>地産推進、活力ある郷土を守る</b> ・農業の担い手育成・技術の継承推進！ ・産業の活性化！										<b>8.0</b>	
<b>防災・減災、命を守る市民総動員の危機管理</b> ・『共助』みんなで助かるしくみづくり！ ・公平に正確な情報伝達を迅速に！										<b>8.5</b>	
無断複製・転用はご遠慮ください。											
三次市議会 議会運営委員会											